

兵高教組

調査情報

2022年2月24日 29号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL : 078-341-6745

FAX : 078-351-3185

URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

県教委「技能労務職の給与制度の見直し」について 2022年4月1日実施見送り

2月21日（月）に兵庫県高等学校従業員組合は、兵庫県教育委員会と昨年11月の賃金確定交渉から切り離され別途協議となっていた、年間賃金100万円削減にもつなげる「技能労務職給料表の適用を受ける職員の給与制度の見直し」についての独自交渉を実施しました。この交渉の中で、唐津教育次長は2022年4月1日からの実施を見送る旨回答しました。

◆唐津教育次長

前回の交渉以降、他府県の給与制度等の調査・分析を改めて行うとともに、みなさんからいただいたご意見を踏まえて検討を進めてきた。

給料表の構造の見直しは避けては通れないものと考えている。しかしながら検討を重ねていく中で、職務の級の格付けについては、各団体が公表している等級別の基準職務表や具体の役職名によると、長のみを最上位の級に位置づけている団体が4団体、長と副長を最上位の級としている団体が2団体のみという状況にある。

一方で、その団体の中には、長や副長以外の職員を上位の級に位置づけをしているように思われる。

他団体が、対外的に説明できるような厳格な職務の級の格付けを行っている一方で、外形的な情報だけでは必ずしも明らかにならない各団体の具体の運用について、個別により詳細に調査したうえでさらに時間をかけて分析する必要がある。

技能労務職員の給与制度の見直し時期については、当初提案させていただいた2022年4月1日からの実施については見送るという形にさせていただきたい。

今後できるだけ早期に調査・分析をすすめ、その状況やこれまでみなさんからいただいたご意見を踏まえて、関係部局との協議を含め総合的に検討を行っていきたく考えている。そのうえで、本県における適切な給与制度の見直しについて引き続き協議を行っていきたく考えている。

以上の説明と回答がありました。

◆組合側から

今、日本の賃金は世界的に見て上がっていないと言われ、引き上げようという流れになっている。公務員の中でも低く抑えられている私たちの賃金を下げようとするのは弱い者いじめである。世の中の流れをくみとって検討していただきたい。

◆従組福田委員長

昨年の給与制度の改悪提案以降、本当に毎日のように「この先どうなっていくのだろうか？という事が頭から離れず不安で仕方がない」という声が職員から絶えることがなくあがってきている。私たちが今まで県教委との信頼関係で築いてきた給料表と、これからの兵庫の教育を守っていく上で双方の信頼を確認し強めていくのが、この交渉だと思っている。われわれを本当に学校で必要だとする県教委の期待と、我々の今までの実績を認めていただけるような結果を求めて交渉していきたい。

「県立学校現業職員の生活を破壊する年額100万円の賃下げ提案の撤回を求める署名」にご協力くださりありがとうございます。現時点で、県下の職場から約3,500筆に迫る署名が集まっています。

これからも交渉は続きます。同じ職場の仲間に向けられた攻撃として受けとめて、署名など引き続きご協力をお願いします。ともに頑張りましょう！

あなたも高教組へ。教職員の生活と権利を守るとりくみを、ぜひ一緒に！